

# 第3章

## PDCA サイクルでの実践

### Check

## 第1節 Check を行うに当たって

### 1 子供の学びや成長を見取る

(1～2年目)



評価方法は、どのようにするとよいですか？

1～2年目は、教科とは別に、キャリア教育の評価基準を設定していました。しかしながら、教科の目標達成に向けた評価だけでなく、キャリア教育における育成する力の評価も行ったため、協議会では混乱が生じていました。また、授業者にも負担がかかり、ルーブリック評価を行うために、何度も文章を練り直しただけでなく、実際の児童生徒の反応からまたも何度も修正を繰り返す事態となり、改善を必要としていました。

#### 1 単元の目標と付けたい資質・能力

単元の目標	○生き物と触れ合い関わる活動を通して、生命のめくもりを実感し、生き物への親しみをもち、大切にしようとするができる。			
付けたい資質・能力	見つめる力	関わる力	見通す力	やりぬく力
	◆生き物との関わりを振り返り、生き物への親しみが増したり、生き物への思いが高まったりした自分の気持ちの変容に気付く。			

#### 2 キャリア教育の視点に沿ったつながり（添付資料）

#### 3 評価規準

評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①生き物のめくもりを感じ、生き物は自分たちと同じように生命をもち、日々生活していることに気付いている。	①生き物の立場に立った関わり方をしている。 ②生き物と触れ合って感じたことや気付いたことを表現している。	①生き物と仲よくなりたいという思いや願いをもって計画を立てている。 ②生き物に親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。

教科等の付けたい資質・能力とその評価規準

教科等の本時の目標と、キャリア教育のルーブリック評価における評価基準

#### 5 本時の展開

##### (1) 目標、付けたい資質・能力

本時の目標	○「ぼく・わたしのとおきの☆☆」を伝え合うことを通して、生き物に親しみをもち、生き物を大切にしようとするができる。			
付けたい資質・能力	見つめる力	関わる力	見通す力	やりぬく力
ルーブリック評価における基準（B達成目標）	◆生き物との関わりを振り返り、生き物への親しみが増したり、生き物への思いが高まったりした自分の気持ちの変容に気付いている。			

(3年目)



キャリア教育で育成する力の簡単で持続可能な評価方法はないのでしょうか？

○ 1～2年目の取組から、キャリア教育で育成する力は、主に「学びに向かう力、人間性等（主体的に学習に取り組む態度）」の資質・能力とつなげて考えられるのではないかと考えました。

実際、「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力〔小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編〕P78～P82〕には、「(3) 学びに向かう力、人間性等」において、「自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。」と示され、「自分自身に関することとしては、主体性や自己理解、社会参画などに関わる心情や態度、他者や社会との関わりに関することとしては、協働性、他者理解、社会貢献などに関わる心情や態度が考えられる。」と述べられています。他教科においても、「文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センターが作成された『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」には、主に「学びに向かう力、人間性等」でキャリア教育で育成する力に関連したものが多く示されていました。そこで、教科で育成を目指す具体的な資質・能力とキャリア教育で育成する力の具体をつなげて評価規準として考えると、目標と評価が一致して取り組みやすくなりました。

5 単元構想計画（全 時間 本時 / 時間目）※キャリア教育の視点は太字・下線・網掛けをする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①〇〇（学習対象）は、(◇◇事実に関する知識であり、) △△（概念化された知識）であることに気付いている（理解している等）。	①〇〇（主要な学習活動や学習対象）について、□□（思考スキル）しながら、△△（子供の行為や姿）している。	①〇〇について、□□しながら、△△（子供の行為や姿）している。
	②〇〇（活動や場面）において、△△（方法に関する知識の質的な違いを）しながら、□□（方法に関する知識による行為）をしている。	②～している。  (思考スキルの例) 見付ける 比べる 例える 試す 工夫 問題解決 関連付ける 多面的・多角的 選択・判断等	②～している。～しようとしている。

□□は、キャリア教育で育成する力とつなげる。

- 見つめる力… 自己抑制、自己調整、自己理解
- 関わる力… 協働、コミュニケーション、他者理解、認め合う
- 見通す力… 目標の達成に向けて学習の調整、問題解決に向けた計画
- やりぬく力… 忍耐力、粘り強さ

※キャリア教育の視点は、評価の3観点全てに含まれており、全てに関連付けることができる。

〔参照図書「ゴール→導入→展開」で考える『単元づくり・授業づくり』田村 学著(小学館)〕



### 見つめる力(自己理解能力 自己管理能力)の視点での誉め言葉は

- 自分の目標に向けて、頑張っているのがすごいね。
  - 苦手なことにもチャレンジして頑張っているんだね。
  - 「できるようになりたい」と強い気持ちで頑張っているんだね。
  - 自分の弱い部分に向き合って、成長しようと努力しているんだね。
- ◇自分の練習より友達を支えてあげているんだね。優しいね。

### 関わる力(人間関係形成能力 社会形成能力)の視点での誉め言葉は

- 友達と一緒にだと心強いね。
  - 一人じゃ無理でも、誰かと一緒にだと頑張る気持ちが沸いてくるよね。
- ◇友達を応援する気持ちが素敵だね。
- ◇友達を助けようとしている気持ちが優しいね。
- ◇アドバイスの仕方が上手だね。

### 見通す力(キャリアプランニング能力)の視点での誉め言葉は

- での自分の役割を考えて練習しているんだね。
  - 自分の役割を考えて取り組んでいるんだね。
  - 自分の練習を改善しようと努力しているんだね。
- ◇友達のためにできることをよく考えたね。

### やり抜く力(課題対応能力)の視点での誉め言葉は

- 君ができるようになったら、○○の競技が盛り上がりそうだね。
  - 練習を工夫しているのが素晴らしい。
  - 取り組み方をみんなにも紹介したいな。
  - 課題を見付けて、改善に取り組んでいるんだね。
- ◇できない原因を見付けてコツを教えてあげているから、どんどん上手になっているね。
- ◇練習方法を一緒に考えてあげたから、○○君も頑張れるんだね。



○ 2年目は切串小が作成した「めざす自分」シートを、中学校区で統一して使用することになりました。小学校では、学期初めに、カードに生活と学習の目標を書いています、それを一年分にまとめたものと考えています。

キャリア教育の視点で、年度初めに「自分のめざす姿」を設定し、そのために毎学期何をどのように頑張るかを、逆算的に計画を立て、学校生活を自分自身で見通しをもつことができるようにしています。これは、自分の生活を自分でコントロールすることにもつながると考えています。また、可視化して意識できるように掲示をすると、毎学期初めに書いていた「学習目標や生活目標」の代わりにもなる上、年度末には保護者からもメッセージをもらって、キャリア・ファイルに綴じすることもできるので、とても有効なものとなりました。

**「めざす自分」シート** ことしいちねんかん 今年一年間で、めざす自分を思いえがき、そのために何をがんばるかを考えよう。

**こんな人になりたい!**

思いやりのある人  
自分で教える人

	そのために がんばること	ふり返り	先生より
一学期	水とうとかも酉り 「ありがとう」と言って 相手がうれしくなる もらえるようなことをする	もう少し 少しできた できた よくできた とをちゃんと考えることができた	(先生より) 相手のことを考えるの をくり返していつか それが習慣として 身に付いていくぞ しよう。
二学期	「ありがとう」と言って くれるようなことをし、自 分ではたした人する。	もう少し 少しできた できた よくできた 自分へ自分をこれは自分 が良くなる方向に考えて	(先生より) 人に言われる前に自分 で考えた動くすがたが 多く見られた。学期初め 算数の自学でも納得い くまで考えていたのがいいと 思います。
三学期	自分で日々計画を立て 相手のことを良く考え る	もう少し 少しできた できた よくできた 学校以外でも何時に れをするか決めたりした。1人 かなくとも毎日勉強するこ	(先生より) 思い通りにできてもし かりと自分で自分をコント ロールしていたね。失敗 を次に生かす人はどんなに 成長します。あなたには輸 でできた第1歩 力があつた。

**家庭より**

自分で計画を立てやうとい  
いす時、準備は出来ていたと思  
います。人の気持ちを考えて  
成長しようと思っています。

いちねんかん 今年一年間を振り返って書こう。  
～この一年で がんばったことや 成長したことなどを 書きましよう。～

みつめる力では自分の失敗などど  
こがためなのを1学期は考えてはかたこと  
も今では考えるようになった。それを次に  
生かして同じ失敗はないようにした。他に  
も何かをする時自分はこれがためたから  
これをがんばるというふうに決めてやるようになった。

みつめるとかでは、今では家でもこの時  
間にこれをするなど全部のことに計画  
性をもつことができた。

こんな 6年生になりたい!

<p>自分で考えて行動できる 6年生。自分のことを終 終わらせ下級生へ手伝 いにいける6年生。</p>	<p><b>先生より</b></p> <p>うまくなつたときに、何が課題かをしめ 見つけることができたね。課題がもて いるから、その後どうすればよいか考えて、見 ることができたでしょう。この力、6年で生かせ!</p>
---	--

切串小学校 児童のキャリア・シート(表・裏)

## 2 研究の成果と課題

### (1) 本中学校区における研究のまとめ

①広島県児童生徒学習意識等調査の結果より

令和4年度広島県児童生徒学習意識等調査の結果

領域	内容	小:肯定的評価(県)		中:肯定的評価(県)
		切串小	江田島小	江田島中
生活習慣	学校の授業の予習をする。	53.4		39.1
		42.9	47.2	39.1
課題発見・解決学習	情報の収集	60.9		48.9
		28.6	44.4	50.0
	その他	82.2		75.3
		71.5	72.3	69.5
	各教科等授業	70.2		60.2
	42.9	72.2	52.1	
振り返り	振り返りをするときには、「どこまでわかったか」などを考える。	71.4		72.8
		57.1	66.7	67.4
各教科等授業	めあてと対応したまとめや振り返りをする。	84.3		85.4
		42.9	72.2	78.2

※水色…県平均より低いまたは同じ項目      ピンク色…県平均より高い項目

※塗りつぶし(黄色)…主に「見通す力」と関連する項目

※塗りつぶし(白色)…主に「見つめる力」と関連する項目



令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査の結果

領域	内容	小:肯定的評価(県)		中:肯定的評価(県)
		切串小	江田島小	江田島中
生活習慣	学校の授業の予習をする。	51.9		37.3
		80.0	63.3	55.3
課題発見・解決学習	情報の収集	60.3		49.9
		80.0	70.0	44.7
	その他	80.8		74.5
		100	90.0	60.5
	各教科等授業	71.5		62.2
	100	83.3	78.9	
振り返り	振り返りをするときには、「どこまでわかったか」などを考える。	70.7		71.9
		100	73.3	81.6
各教科等授業	めあてと対応したまとめや振り返りをする。	84.4		84.5
		100	93.3	81.6

※水色…県平均より低いまたは同じ項目      ピンク色…県平均より高い項目

※太字…昨年度より数値が上がっている項目

※下線…昨年度より数値が下がっている項目

※塗りつぶし(黄色)…主に「見通す力」と関連する項目

※塗りつぶし(白色)…主に「見つめる力」と関連する項目

※中学校のみ前年度と同じ学年で実施、 小学校は R4・R5 とともに第5学年で実施

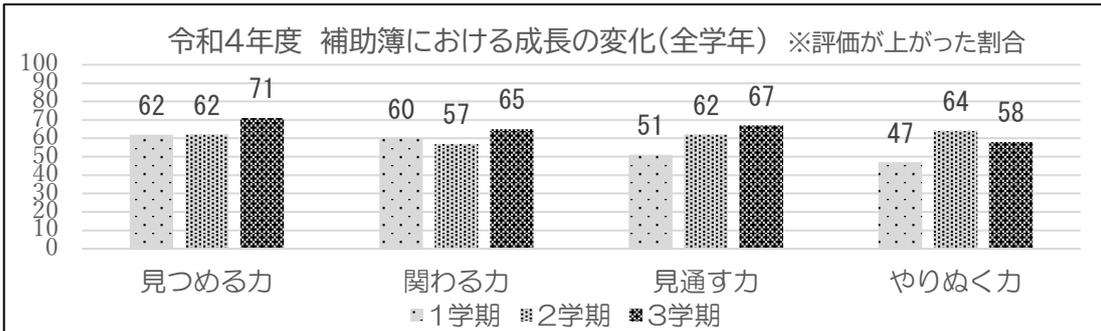
○成果

- 質問紙調査項目6項目（3校実施のため、分母を18とする。）において、県平均より数値が高い項目は、令和4年度は、1/18であったが、令和5年度は、15/18であった。
- 特に、小学校においては、2校とも全項目大きく数値が上がっていた。
- 中学校においても、令和4度よりも数値が上がっているものが、6項目中4項目あった。

●課題

- 中学校において、令和4年度よりも数値が下がっている項目が、6項目中2項目あった。

②補助簿等における成長の変化より



○成果

- 毎学期教師が見取る補助簿において、見つめる力と見通す力について、評価の上がった児童の割合が1学期から3学期に向けて少しずつ上がっている。
- 関わる力についても、1学期よりも3学期は上がっている。

●課題

- やりぬく力については、1学期より2学期は上がったが、3学期は2学期より下がった。

③育成する力の系統表より

**低学年**

1年生のときはまぢがえたり  
いろいろしていきけど2年生  
になってすてししかまぢがえ  
ずにできました。3・4・5年生  
になったら1こもまぢがえが  
よいかんばっていききたいげす。  
2年生は、おとすちがいのへて、すていね。こまぢがえ、あとすちのふない  
おれしのかいおつと、来年と見通してすす、すばらしい!

**中学年**

自分たちが頑張ったこと、頑張ったことをくわしく書きましょう。  
また、これから もっと がんばりたいことも 書きましょう。  
自分たちで旗を作ったり、メダルを作って運動会  
を盛り上げられた。去年よりも、うまく一列車、  
ソーランぶしなどをできた。来年は、もっとまく  
できるようになりたい。3年生までは、やてはあひ  
係でじゅんびイ系をやて、じゅんびするのを  
わすれていた時もあったから来年は、新しい  
イ系になってもがんばりたい。メダルを作る  
時に、自分たちで言べて作つた。来年から、高学年を  
がんばりたい。

**見つめる力(自己理解能力・自己管理能力)**

低—自分の成長や自分が頑張りたいことに気付いている。

中—自分のよさに気付いている。  
自分のやりたいことやよいと思うことを進んで行うことができる。

高—自分の長所や短所に気付いている。

**高学年**

自分が 成長したと 思ったことを くわしく 書きましょう。  
また、これから もっと がんばりたいことも 書きましょう。  
ほくは、次の運動会と おうえんが、せいで、もっと大きな声を出  
すことか、がんばりたいと思いました。歌も、きんぎょせすに、もと、  
音楽し、お出しすことを一生けんめいおはつと思ひました。次は、お  
団長になつて、みんなをきんぎょせす、大きな声を出すことか、次の  
目標です。 ひとおす。  
次の運動会に向けて「がんばりたい」ということを具体的にもつてい  
る。その他にもできることはいろいろあります。今の6年生の姿から学べるよ  
いと思ひます。

## 【結果を受けてのまとめ】

( ○印—成果として分析したこと      ◎印—今後取組を必要とすること )

○ 「見つめる力」と「見通す力」を焦点化して取り組んだ結果、広島県児童生徒学習意識等調査からも補助簿や振り返りからも、児童生徒が大きく変容したことがわかった。

このことから、活動や単元後の振り返りで、自分の学びや成長を振り返ることを繰り返すことにより、「見つめる力」と次への意欲や目標につながる「見通す力」を高めることができたのではないかと考える。

特に効果的な手立てとしては、単元（授業）構成の工夫、単元初めと終わりで自分の学習状況を比較できるようにしたこと、出前授業による学びと社会や生活とつなげる工夫、単元を貫く問いの工夫、学習方法の工夫等が、主に考えられる。

◎ しかしながら、中学校において数値が下がっている項目があったことから、生徒の自分への味方が厳しくなった（できていないことを自覚した）ことが考えられる。理由は、中学校は同じ生徒で調査・分析を行った上、実際にインタビューをして明らかになったからである。その一方で、さらなる授業改善も求められる。

特に、「課題を解決するために、進んで資料集めや取材をする。」「生活や学習の中で、これまで学習した内容や学習の進め方を使っている。」の項目において、より探究学習となるような授業改善を図る必要がある。この授業改善を図ることができれば、この項目のみでなく、「見つめる力」に関連する振り返りも充実し、育成する力も高まるのではないかと考える。

「見通す力」の育成については、単元導入時に、問いが生まれるような教材との出会わせ方を工夫し、問いから課題設定などの学習計画を立てたり、学習方法を選択したりすることなどを、今後も引き続き工夫する必要がある。

学習のゴールイメージや目標などを考え、計画を立てて見通すからこそ、学習のできたこと・できなかったことを振り返ることができ、さらなる次への目標へとつながる。そこに探究の課題意識がスパイラルに高まり、学びに充実感が生まれるのではないかと考える。すると、学習や活動後の振り返りも充実し、自分の学びを自分で創り上げることができるのではないかと考える。

また、補助簿で育成する力「やりぬく力」が3学期に下がっていることから、運動会（体育祭）や学習発表会（文化祭）などの学校行事によるものと考えられるので、育成する力の取組も年間を通して計画的に行うことが大切である。